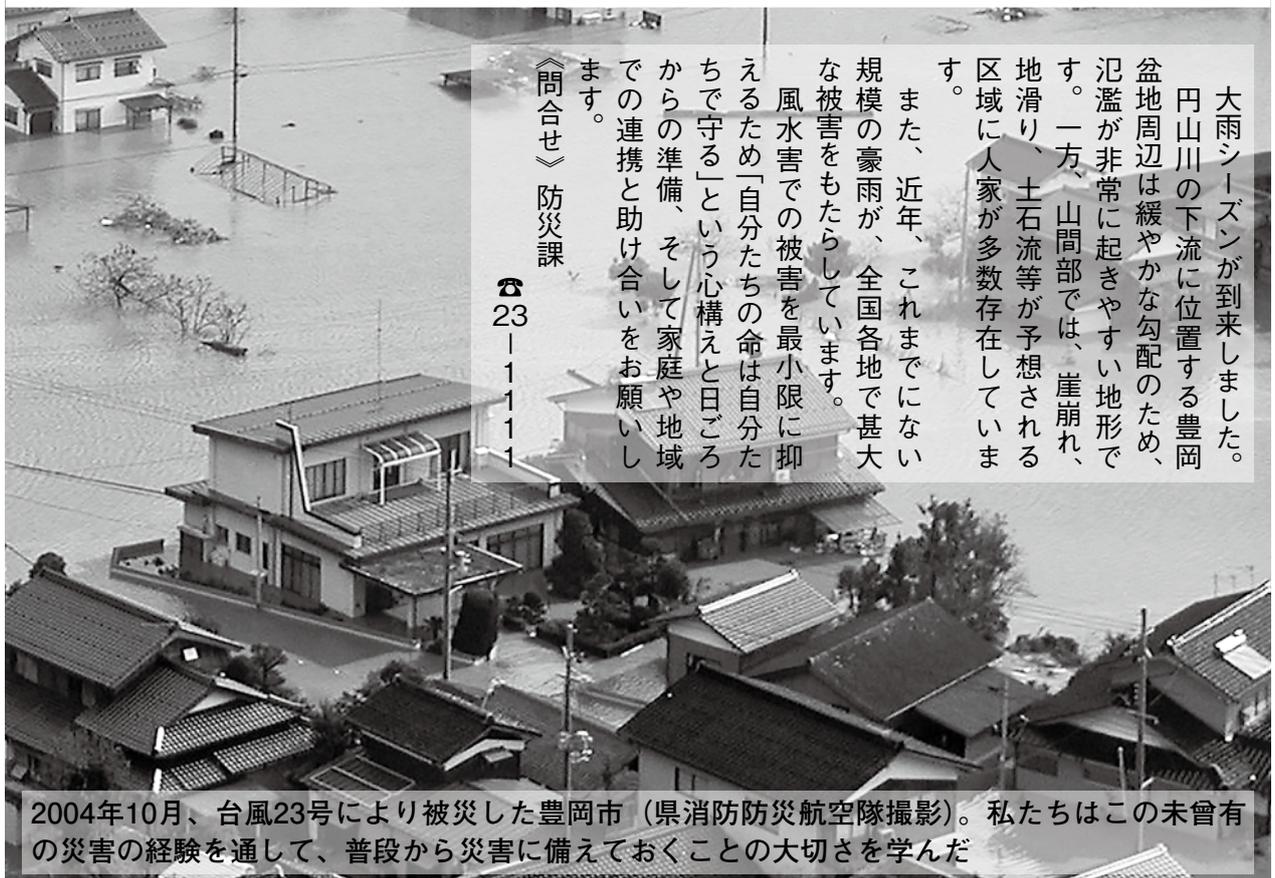




## 大雨シーズン到来



# 風水害に備えて、 自分や家族の命を守る



大雨シーズンが到来しました。円山川の下流に位置する豊岡盆地周辺は緩やかな勾配のため、氾濫が非常に起きやすい地形です。一方、山間部では、崖崩れ、地滑り、土石流等が予想される区域に人家が多数存在しています。

また、近年、これまでにない規模の豪雨が、全国各地で甚大な被害をもたらしています。

風水害での被害を最小限に抑えるため「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えと日ごろからの準備、そして家庭や地域での連携と助け合いをお願いします。

《問合せ》防災課

☎ 23-11111

2004年10月、台風23号により被災した豊岡市（県消防防災航空隊撮影）。私たちはこの未曾有の災害の経験を通して、普段から災害に備えておくことの大切さを学んだ

※掲載している情報は編集時点(6月16日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

# 1 避難情報

## 避難情報が変更

警戒レベル4「避難指示」で必ず全員避難

市では、洪水や土砂災害などが発生する恐れがある場合に、河川の水位や気象状況に応じて、避難情報を発令し、市民の皆さんへ避難を呼び掛けています。

この避難情報が、5月20日から、次のとおり一部変更になりました。

### ◆警戒レベル5

「緊急安全確保」へ名称変更

○状況 災害発生または切迫

○取るべき行動 命の危険 直ちに安全確保

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。建物の2階以上の高いところで山側から遠い部屋などへ、直ちに身の安全を確保してください。

なお、警戒レベル5は、災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から必ずしも発令される情報ではありません。

### ◆警戒レベル4

「避難指示」に一本化。避難勧告は廃止

○状況 災害のおそれ高い

○取るべき行動 危険な場所から全員避難

避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。危険な場所にいる場合は、必ず安全な場所へ全員避難を開始してください。

### ◆警戒レベル3

「高齢者等避難」へ名称変更

○状況 災害のおそれあり

○取るべき行動 危険な場所から高齢者等は避難

避難に時間のかかる高齢者等は、安全な場所へ避難を開始してください。高齢者等以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

### 《警戒レベルと新たな避難情報等》

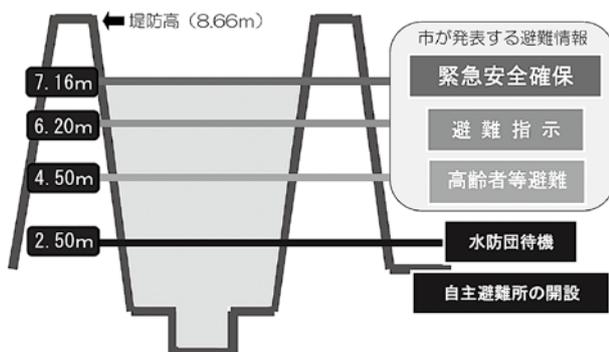
警戒レベル	新たな避難情報等
5 災害発生 または切迫	緊急安全確保
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~	
4 災害の おそれ高い	避難指示
3 災害の おそれあり	高齢者等避難
2 気象状況 悪化	大雨・洪水・高潮 注意報（気象庁）
1 今後気象 状況悪化の おそれ	早期注意情報 （気象庁）

※警戒レベルとは災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、皆さんが直感的に理解するための情報です。災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。

## 河川水位に合わせて避難情報を発令

円山川立野地点水位4.5mで「高齢者等避難」を発令

避難情報の基準となる立野水位観測所(例)の水位



夜間に避難指示以上の情報を発令する可能性がある時、早めの自主避難を呼びかけます

市は、円山川、出石川、奈佐川など河川の特定地点の水位に合わせて、避難情報を出すことにしています。

円山川の立野地点では、水位が4.5mに達し、災害の危険が高まると警戒レベル3「高齢者等避難」を発令します。さらに水位が6.2mに達し、危険が迫ると警戒レベル4「避難指示」を発令します。

また、夜間に河川水位が上がる見込みで、避難指示以上の情報を発令する可能性がある場合は、明るいうちに自主避難所を開設し、早めの自主避難を呼び掛けます。

### 【注意】

台風などの接近時に、河川や田畑の様子を見に行くことは大変危険ですので、絶対にしないでください。

※掲載している情報は編集時点(6月16日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。